

10月8日
(木)

優勝し中部大会へ出場

—第33回岐阜県電気工事技能大会—

中部電力岐阜配電訓練所（美並町）で、県内8チームが参加し、1チーム3人で電柱から家庭への引き込み作業などの電気工事技術を競い合いました。優勝した市内の電気工事業所から選抜された中濃チームのみなさんは、11月5日（木）に中部大会へ出場し敢闘賞を受賞されました。



左から山本電工 山本浩之さん
大和電設 太野孝嘉さん
小駄良電工 有 松平和也さん

優勝した中濃チームの
みなさん(中央3人)

10月9日
(金)

小中学生の部で入賞

—全日本学生・ジュニア短歌大会—



喜びの報告をした旗さん

第9回全日本学生・ジュニア短歌大会（日本歌人クラブ主催、文化庁、毎日新聞社など後援）で毎日新聞社賞（2席）を受賞した旗萌々香さん（大和北小3年）が青木教育長に受賞の報告をされました。旗さんは「入賞できると思わなかった。とてもうれしいです」と喜びを語りました。

10月10日
(土)

次世代へつなぐ山づくり、いっしょに考えよう

—第39回全国育樹祭を盛り上げる「育林現地見学会」「育林技術交流集会」を開催—

高鷲町内において平成26年度農林水産祭天皇杯（林産部門）を受賞された山川弘保さんの山林見学会を行いました。山川さんは脳神経外科医として郡上市民病院に勤務しながら「先祖から受け継いだ山の価値を高め、次世代に引き継ぐ林業」を基本理念に休日などは



育林現地見学会の様子



郡上高校生徒による活動発表の様子

林内作業に従事されています。見学会は、「清流の国 ぎふ森林・環境基金」を活用して開催されました。また「2015育林技術交流集会」が市総合文化センターで開催され「清流でつながる森づくり」と題し、パネルディスカッションや郡上高等学校森林科学科の生徒による森づくり活動の発表などが行われました。

10月13日
(火)

郡上八幡駅が国の登録有形文化財建造物に

—国登録有形文化財建造物「郡上八幡駅」登録証の伝達—

昭和4年に開業した旧国鉄越美南線（現在は、長良川鉄道）の郡上八幡駅は、本屋及び上りプラットフォーム、物置及び桟子屋、下りプラットフォーム及び待合所、跨線橋といった郡上八幡の近代化を今に伝える貴重な建造物が残っています。今年3月13日に文化審議



登録証とプレート
を伝達する青木教育長(左)



国の登録有形文化財
建造物となった郡上八幡駅

会で答申され、8月4日付けで文化財登録原簿に登録され、国の登録有形文化財建造物になりました。この日は、市役所本庁舎で青木教育長より長良川鉄道株式会社の日置社長（郡上市長）へ登録有形文化財登録証とプレートが伝達されました。今後、郡上八幡駅にこのプレートが設置される予定です。

10月14日
(水)

上位入賞をめざす

—全国健康福祉祭やまぐち大会出場—

第28回全国健康福祉祭(ねんりんピック)やまぐち大会ゴルフ競技に出場する大澤敬旦さん(和良町)の激励会が市役所本庁舎で行われました。日置市長は「練習の成果を発揮し、上位をめざしてください」と激励し、大澤さんは「上位入賞をめざしたい」と大会への抱負を述べられました。

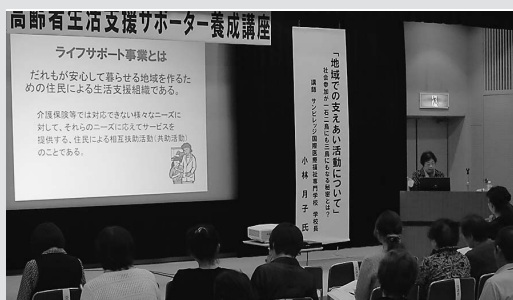


日置市長に意気込みを語った大澤さん

10月21日
(水)

高齢者を地域で支える

—高齢者生活支援サポーター養成講座—



小林月子校長による講演会の様子

全6回講座の1回目として、サンビレッジ国際医療福祉専門学校の小林月子校長による講演が行われ、地域での支えあい活動や「ライフサポート事業」の紹介があり、支援をする側もその活動を行うことが生きがいになっているということなどを話されました。

10月16日
(金)

ICT（情報通信技術）環境を整備し移住促進へ

—貸しオフィス「モデル・テレワーク・ハウス」内覧会—

市から業務委託を受けたNPO法人「HUB GUJO（ハブグジョウ）」が八幡町の築75年の旧紡績工場の一部を改修し建物の一角にコンピューターのサーバーやスキャナー、公衆無線LANを利用できる環境を整備しました。この建物は、ICT環境を整備した貸しオフィス「モデル・テレワーク・ハウス」として、移住者を



建物内の説明をする赤塚良成理事長



ICT環境を整備した旧紡績工場

呼び込もうと地方創生を後押しする交付金を活用し市の事業として計画されました。この日、行われた内覧会には、利用に関心がある東京都内の企業役員らも出席し「自然や町並みがとても素晴らしい」など述べられました。今後、郡上市の新たな事業として取り組みます。

10月21日
(水)

知事賞、会長賞を受賞

—県障がい者ふれあい福祉フェア—

「県障がい者ふれあい福祉フェア（岐阜市）」で作品が表彰された市内受賞者のうち、「さをり織り」で知事賞を受けた木田和裕さん（八幡町）、「絵」で県身体障害者福祉協会会長賞を受けた森康仁さん（白鳥町）がこの日、日置市長に受賞の報告をされました。



喜びの報告をされた木田さん中央と森さん(右)

10月21日
(水)

川で流された男性を救助

—消防感謝状を贈呈—



感謝状を受けた4人

八幡町の吉田川で流されている男性を発見した庄村保徳さん（八幡町）が119番通報し、現場に駆け付けた此島一雄さん（八幡町）渡辺康美さん（八幡町）宮崎昇久さん（白川町）が協力して左岸へ引き上げ救助されました。この迅速・的確な人命救助に川島消防長がお礼と感謝を述べ、感謝状を贈呈しました。

10月23日
(金)

念願のトンネル工事着工

— (仮称) めいほうトンネル起工式 —

明宝と下呂市金山町を結ぶ県道金山明宝線の(仮称) めいほうトンネル1期工事の起工式が行われ、古田県知事や市の関係者、約100人が出席し着工を祝いました。この中で、小川地区の住民による横断幕の出迎えや小川小学校児童6人が書いた感謝の手紙が古田県知事に手渡されました。



起工式でくわ入れを行う様子

10月25日
(日)

講演や表彰式に全国から参集

— 古今伝授の里短歌大会を開催 —

大賞受賞のみなさん
(前列3人)

大和生涯学習センターで短歌大会が開催され、玉井清弘氏(歌人、香川県在住)の講演や選評があり約200人が参加しました。また、各部門ごとに入賞者の表彰が行われ、大会大賞には大野紀子さん(郡上市)吉田尚子さん(熊本市)小林慎平さん(高鷲中2年)の作品が選ばれました。

10月31日
(土)

郡上市の未来を提案「夢論文・作文」発表

— 郡上市夢論文・作文表彰式並びに記念講演会 —

日本まん真ん中センター(美並町)において、郡上市夢論文・作文表彰式並びに記念講演会を開催しました。

当日は、応募作品の中から最優秀賞、優秀賞および特別賞を発表し、表彰状と副賞の授与を行いました。また、記念講演会では「日本のまん中で価値ある田舎を育てよう」と題して、総務省過疎問題懇談会座長でもある早稲田大学教育・総合科学学術院教授の宮口侗廸氏に、田舎ならではの長所を生かしたまちづくり等について講演いただきました。夢論文・作文は、人口減少・超高齢化社会などの課題克服に向けた「郡上市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に反映するよう募集したのですが、その応募総数は、2,502点(一般の部63点、児童生徒の部2,439点「小学校920点、中学校866点、高等学校653点」)にもおよびました。

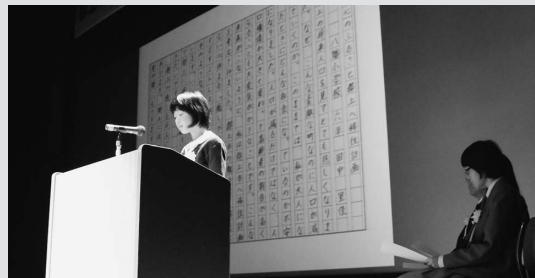
将来を担う子どもたちをはじめ、市内外の多くの方から熱い思いのこもった素晴らしいご意見、ご提案をいただき本当にありがとうございました。

◎夢論文・作文入賞のみなさん(順不同、敬称略)

▶最優秀賞…山川弘保(高鷲町)、田中里佳(八幡小6年)、川端佑奈(高鷲中3年)、和田奈津美(郡上北高校3年)

▶優秀賞…國枝誠司(八幡町)、畑佐晴之(明宝)、平野恵理(八幡町)、小椋哉斗(八幡小6年)、河井晶乃(白鳥小6年)、歳藤香衣(大和南小6年)、尾関朱音(郡南中3年)、林樹里(明宝中3年)、和田悠(八幡西中3年)、遠藤菜美香(郡上高校2年)、杉本竜介(郡上特別支援学校高等部3年)、吉崎菜津美(郡上北高校3年)

▶特別賞…遠藤正史(白鳥町)、太田礼子(明宝)、志津野多嘉枝(八幡町)、野田将之(白鳥町)、三浦律子(八幡町)、武藤由美子(高鷲町)、一柳咲月(吉田小6年)、尾藤魁士(大和西小4年)、堀菜々子(大和西小5年)、若山達弥(白鳥小6年)、小倉愛花(高鷲中2年)、児島瑠羽(白鳥中3年)、清水双葉(明宝中3年)、日置伊万里(白鳥中3年)、日置菜乃葉(大和中3年)、杉山浩太郎(郡上北高校3年)、谷口潮(大垣養老高校2年)



最優秀賞のみなさんによる作品発表



表彰式の様子



講演会の様子

10月25日
(日)

市の取り組みを見学

ー平成27年度市政見学会を開催ー

市民のみなさんに市の施策や施設について理解を深めてもらうことを目的に毎年、市政見学会を開催しています。今回は、「和良鮎まつり」「移転新築した市役所和良庁舎」「明宝高原秋まつり」「明宝温泉湯星館の木質バイオマスボイラー」などを市民のみなさんに見学していただきました。



◀木質バイオマスボイラーを見学するみなさん

10月27日
(火)

個人入賞、吊り輪で優勝したい

ー全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会ー



◀全国大会に出場する澤原さん(中央)

静岡市で開催される「第10回全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会」に出場する郡上八幡体操クラブの澤原聡史さん(大中小6年)の激励会が市総合文化センターで行われました。澤原さんは「種目ごとにそのコツを考え、大きく美しい演技をしたい」と大会への抱負を述べられました。

11月2日
(月)

台座の欠けていた蓮弁 民家の蔵で発見

ー国重文「銅造虚空蔵菩薩坐像」の台座に欠けていた蓮弁を寄贈ー

白鳥町石徹白地区の大師講が所蔵する「銅造虚空蔵菩薩坐像」は、昭和46年に国の重要文化財に指定された後、昭和49～50年に保存修理が行われましたが、当時の修理解説書には台座の蓮弁6枚が亡失していると記載がありました。今回、所在の分からなかった蓮弁6枚が桜井克美



◀桜井克美さん(右2人目)から上村修一さん(右3人目)へ蓮弁を手渡す様子

さん(白鳥町)宅の蔵に保存された状態で発見され、市教育委員会を通じて大師講代表の上村修一さん(白鳥町)に連絡し、今回の寄贈となりました。

大師講では、今回の蓮弁寄贈を受け、平成28年度に文化庁へ国庫補助金を申請し、蓮弁の修理を行い台座に取り付ける予定です。



◀銅造虚空蔵菩薩坐像

11月2日
(月)

和良・明宝線を新たなバスで運行

ー八幡バス和良明宝線バス車両貸与式ー

和良線・明宝線(地域内フィーダー系統)の運行を担う事業者へ、国土交通省の公有民営方式バス車両購入費補助制度を活用し、市からバス車両1台が貸与されました。この路線を運行する(有)八幡観光バスの平岩代表取締役は「これまで以上に安全運転で運行したい」と述べられました。



◀日置市長から平岩代表取締役(右)へバスを貸与

11月4日
(水)

法務大臣表彰を受賞

ー人権擁護委員の法務大臣表彰受賞報告ー



◀山田正代さん(大和町神路)

山田さんは、人権擁護委員として平成15年の委嘱以来、4期12年以上にわたり熱心に人権擁護活動を行い、岐阜県人権擁護委員連合会理事、郡上人権擁護委員協議会副会長等の要職を長年にわたり務められ、それぞれの役職を通じて人権擁護委員組織体の運営・発展に寄与されたことにより今回受賞されました。